

## のたろんフェア 2022 報告

2022.2.17

- 目的
- ・市民公益活動団体に活動紹介と活動資金づくりの場を提供する。
  - ・より多くの市民に市民公益活動への関心を深めてもらう機会を提供し、市民活動を始めるきっかけ作りの場とする。
  - ・参加公益活動団体がより活発に交流できる場とする。
  - ・社会貢献活動を行う企業の取り組みを紹介し、市民公益活動団体と企業、大学など地域協働のきっかけづくりの場を提供する。
  - ・被災地の復興支援を継続的に行う場とする。
  - ・コロナ禍だからこそできることを摸索し市民活動の活性化を促す場とする

開催日時 2022年 2月 12日（土）～ 13日（日）の2日間 10:00～15:00

場所 横須賀市立市民活動サポートセンター及びオンライン形式

主催 のたろんフェア 2022 実行委員会、横須賀市立市民活動サポートセンター

運営体制 1) 実行委員会を構成し、企画運営を行う。

実行委員の役割として…実行委員長、副実行委員長、記録、広報、会計監査など

2) 事務局 市民活動サポートセンター 担当：小澤・早坂

- 参加者
- 1) 参加申込団体数 83 団体
  - 2) 事前連絡参加辞退団体数 7 団体
  - 3) 当日辞退団体数 1 団体
  - 4) 2日間（12日・13日）の来場者数 387 人（一昨年 5,680 人）
  - 5) PR イベント集客数約 120 人
  - 6) オンライン（Zoom）視聴数 各配信 10 人～25 人
  - 7) 実行委員 11 人、記録担当 2 人、さぼせんサポーターズ 8 人

### 内容・成果・課題

- 1) 展示（活動紹介展示 15 団体 ミニ展示 43 団体）  
団体の活動を紹介する展示を受付前交流サロン側で行った。  
ミニ展示は駐車場側ガラス面に向けて展示をした。
- 2) フリーマーケット（館内 10 団体 館外 6 団体）  
活動資金集めを目的とした販売を行った。  
土曜日の館内フリーマーケットは申込定数を超える応募があり抽選となったが、落選した団体は全て翌日曜日での参加となった。
- 3) 募金（4 団体）  
いくつかのルールを定め、募金活動を行った。
- 4) 署名活動（1 団体）  
いくつかのルールを定め、署名活動を行った。

- 5) PR イベント 2月5日(日) リドレ横須賀(4団体)  
参加団体のパフォーマンス発表の場だけではなく、フェアと一緒にPRする場として企画した。チアダンス、ゴスペル、ウクレレデュオなどのパフォーマンス発表を行った。
- 6) 映像による活動紹介コーナー(5団体)  
映像による活動紹介を行った。来場者の方々にも関心を持っていただいた。
- 7) 市民活動団体交流会  
後日、Zoomによるオンライン交流会を後日開催予定。
- 8) 企業の社会貢献活動の紹介(1企業)  
活動内容を広く周知することができた
- 9) のたろんLive(15団体)  
Zoomを使用して当日の2日間団体の活動紹介動画などを配信した。  
動画は後日、サポートセンター公式YouTubeチャンネル(のたろんチャンネル)にて  
随時配信を予定。
- 10) 私たちは忘れない ～のたろん復興応援団～  
実行委員会として復興支援の取り組みを行った。  
・講演会：のたろん復興応援団(実行委員会)主催による「南三陸から未来へ贈る言葉」を  
テーマに動画配信を行った。
- 11) のたろんフェア2022 実行委員企画  
13日(日)小学生以下の親子参加型の「オンライン運動会」を開催した。  
初めての試みにも8家族が参加いただき参加者からは軒並み楽しく参加できたとの声を  
いただいた。
- 12) 来場者動員企画  
企画を提案してくれた団体は1団体。  
・横須賀歩け歩け協会(団体の行事と連動する提案)
- 13) 地域連携  
本町商店会と連携し同日開催として「ドブ板バザール」開催を予定していたが、コロナ禍  
の影響により「ドブ板バザール」は中止となった。
- 14) 運営ボランティア  
今年度はコロナ禍の影響を鑑み募集を行わなかった。

## 15) その他

コロナ禍を鑑み会場型は入場制限を設け参加団体も1日交代での出店参加とした。(参加団体、スタッフ、実行委員含む約60名とした。館内収容人数の約50%) また入場口、退場口を設け人の流れが重ならないようにし、入場口では検温、連絡先記入、マスク着用など来場者にも感染拡大防止協力をお願いし館内制限を超える場合は整理券を配布するなどとし混乱防止にも努めた。初めての試みであったが来場者にも協力いただき大きな混乱、トラブルはなかった。

館内出店団体については1団体1人のみの参加を取り決めていたが、いくつかの団体が常時複数名常駐するなど事前ルールが守られていない団体があった。

来場できない方々のために初めてZoom配信を行ったが視聴数は伸び悩み、次年度以降の検討材料としたい。

### 広 報 1) PR イベント

・2月5日(土) 11:00~14:00 場所 リドレ横須賀 参加団体 4団体

### 2) PR 展示

・1月29日(土)~2月11日(金)

場所 サポートセンター 活動紹介コーナー センターエリア

・1月31日(月)~2月4日(金) 場所 横須賀市役所

3) ポスター・チラシ配布 市内各公共施設・学校・銀行・店舗 その他

4) 広報記事掲載・放送 タウンニュース、広報よこすか、情報誌のたろん、のたろん通信、サポートセンターメルマガ、PIAZZA 他各媒体

5) PR 番組放送 FMブルー湘南 1月26日(水)、2月2日(水) 15:00~15:30 (参加団体7団体)

### 参加団体報告書及び実行委員、運営ボランティア、スタッフ アンケートより抜粋

(○良かったところ △改善すべきところ ◆提案)

○コロナ禍のまん延防止の中、来場者は少なく会場内は少し寂しく感じましたが開催できたことに感謝します

○毎年継続的に参加している団体もあれば新規参加団体もあり良いイベントと思いました

○入場制限、事前検温、マスク着用など感染拡大防止策のおかげで安心して参加できました

△子どもの来場が少なかった

◆一団体一人の参加はトイレなどブースが空になる事があり複数が望ましい

○製品が売れたことも嬉しかったが久しぶりに知り合いに会い元気な姿を見ることができ嬉しかった

◆寒かった、開催時期の検討を

